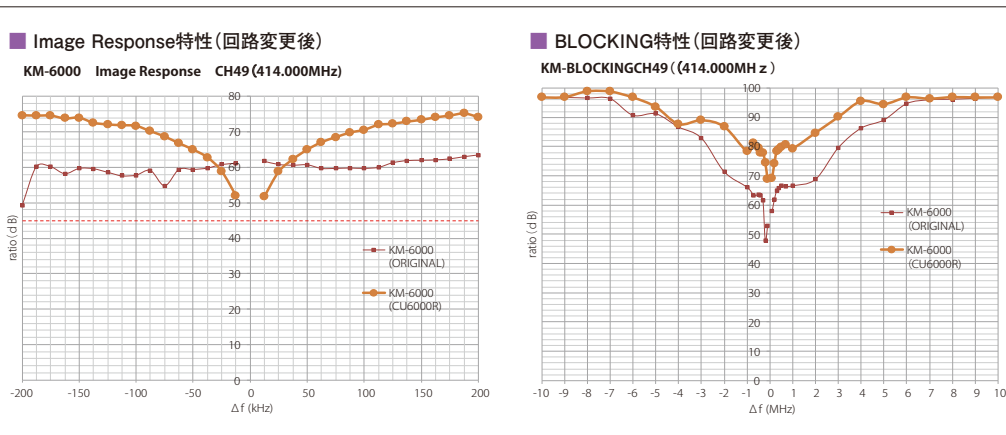
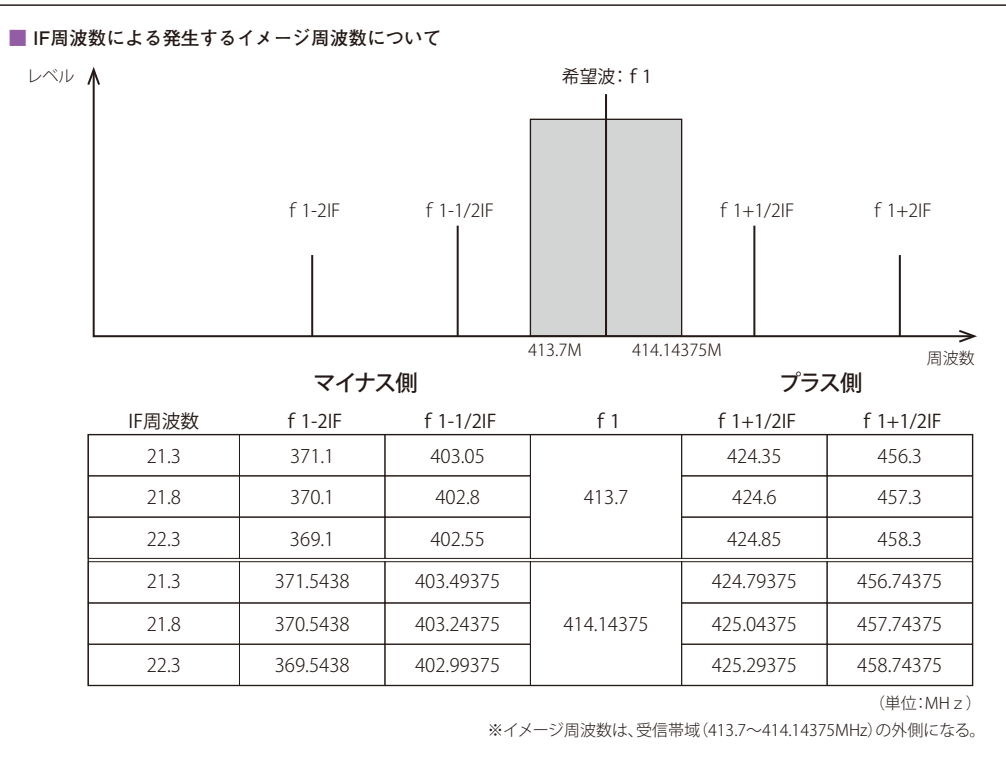


各受信ユニットのローカル周波数も受信帯域外周波数に設定。それによりイメージ妨害の影響も受けにくくなっています。



従来に比べBLOCKING特性も±2MHzまでは約15dB程度改善

KM-6000EXは前面ボタンでの変更操作が実現

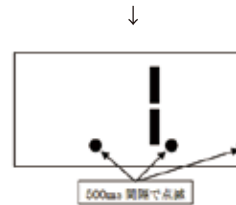
チャンネル、トーン周波数、スケルチ感度、RXアッテネーター、LED輝度の変更



特にスケルチ感度の切り替えは現場に応じて3段階でご用意しました。

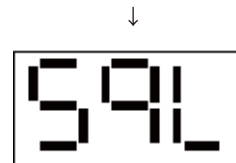


チャンネルツマミを押下後、選択表示になります。



チャンネルツマミで選択 (表示は1の場合)
設定値は1~3。初期値は2

- 1: 旧ドットシール無し相当
- 2: 黄色2ドットシール相当
テールノイズが非常に少ない
弱電界接続切れやすい
- 3: 緑色ドットシール相当
弱電界接続切れにくい
但し、テールノイズ有り



チャンネルツマミを押下で決定

RXアッテネーターと合わせてご用意いただく事でさまざまな現場に対応可能となりました。

緊急時のオールリセットを前面ボタンで操作可能です。

